



竹富島くらし通信



高齢者が安心して住み続けるための活動が始まりました。この活動では住民一人ひとりが智恵を出し合い、支え合い、いつまでも安心と希望をもって暮らし続けられる地域づくりをめざしています。「通信」は情報を共有するため、毎月の月例会で配布します。

竹富島住民会議が正式に発足しました

いよいよ竹富島で高齢者が安心して暮らし続けるために、『竹富島型の地域ケアシステムづくり』について話し合う住民会議が正式に発足しました。宜しくお願い致します。

正規委員
東里美代子, 上勢頭美穂子, 小浜栄子, 島仲信秀, 新盛桂子, 高橋智彦,
高橋裕子, 新田初子, 野原吉雄, 辺土名孝, 細原京子, 前本賢二郎,
松竹昇助, 与那国光子 (五十音順)
上勢頭篤, 新田長史, 友利勝, 水野景敬 (公民館執行部)

賛助委員
大盛聰, 仲盛大介, 黒島大輔, 真地美之, 華山麻美 (竹富町役場)
工藤正二 (竹富町社会福祉協議会)
大湾明美, 田場由紀, 長堀智香子 (沖縄県立看護大学)

竹富高齢者ゆくい処での取り組みを紹介します

現在、竹富高齢者ゆくい処では、竹富町社会福祉協議会の通所介護事業所“さみん”のデイサービス（毎週火曜日・金曜日）と、サロン事業“まあまあず”（第2・第4木曜日）が活動しています。また、竹富町役場介護福祉課による介護予防教室“ぴんぴん体操”（毎週水曜日）が開催されています。

今回は、ひとりでも多くの人にゆくい処を知ってもらうため、**新田初子**さんと**高橋裕子**さんを中心に“**ほほえみの会**”と“**まあまあず**”によるゆくい処での交流会が企画されました。交流会は**10月23日(金)**に実施されます。参加者の反応が楽しみですね！！



参加される皆さんの感想は
次回紹介します

今回の住民会議では介護予防の取り組みについて話し合いました

古謡愛好会の再開にむけて（伝統芸能を活かした介護予防活動）



写真提供：竹富町役場介護福祉課

去った7月のゆくい処開所式では、先輩方が生き生きと古謡を披露し、式典を盛り上げました。

過去にあった古謡愛好会の活動を再開するお手伝いができないか話し合いました。しかし、竹富島の人々の多忙さが話題になり、取り組みたくてもできないのではないかとの意見もありました。

今回の意見交換では、具体的な取り組みのアイディアはでませんでした。大切なものを守っていこう、必要なことをやってみようという人をひとりでも増やすために取り組むことで一致しました。10月3日に開催された古謡大会の成果も踏まえ、前向きに取り組みたいです。

島のみなさまからのアイディアも随時受けたまわります。住民会議メンバーへ情報提供をお願いします。



島野菜を活かした食習慣づくり （島の環境を活かした介護予防活動）



専門職がとらえた竹富島の医療・介護に関する課題のひとつ、高血圧症が多いことについて情報交換しました。特に食習慣について、夏場は島の暑さでゴーヤーさえ育たず、バランス良く食材を確保することが難しいことがあげられました。

しかし島には、ハルノゲシ、長命草、エンサイなど、暑さに負けず育つ野草もあります。

これらの島野菜を活かした食習慣について考えていくことも提案されました。



長命草



エンサイ



ゴーヤーも
いいけれど・・・



フーチバー

竹富島くらし通信、ならびに竹富島住民会議に関する質問、お問い合わせは下記までお願いします。



竹富島住民会議事務局 田場由紀
〒901-0076 那覇市与儀1-24-1 沖縄県立看護大学
電話：098-833-8883(直通)

